

大学職員の基礎力を考える

■講師

織田 隆司（愛媛大学 教育学生支援部 教育企画課 課長）

平成7年高知医科大学事務職員に採用。これまで弓削商船高等専門学校、大学評価・学位授与機構、愛媛大学で勤務。愛媛大学では経営企画課、財務企画課、学長秘書室、教育企画課、医学部総務課を経験し、平成30年度から現職。平成22・23年度に次世代リーダー養成研修を受講・修了。平成28年度SPOD-SDC認定。

■プログラム概要

スタッフ・ディベロップメント（SD）が大学設置基準に規定され、1年が経ちました。近年、環境の変化に伴って、さまざまな立場において求められる能力とその開発を巡って、審議会や学会等で活発に議論が行われるとともに、新聞や雑誌などで取り上げられています。その中では、所属部署に関わらず必要となる「基礎力」があると言われていますが、一般的に社会で求められる基礎力と、大学職員に求められる基礎力に違いはあるのでしょうか。

本プログラムでは、大学職員に求められる基礎力のいくつかに焦点をあて、参加者間で組織を超えた状況・情報を共有するとともに、どういったことが課題となっているか、また、その「基礎力」を職場でどう活かしていくのかについて考えていきます。

参加者間による意見交換により、職場で活かせるヒントを共有する機会にしませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

■主な受講対象

係長相当級までの職員。

■本プログラムの到達目標

1. 大学職員に求められている「基礎力」とはどのようなものか、説明することができる。
2. 大学職員に求められている「基礎力」を活用する上での課題を挙げることができる。
3. 「基礎力」活用上の課題を解決するヒントを共有できる。

■日時・場所

日時：平成30年8月29日（水）10：00～12：00

場所：香川大学幸町北キャンパス